

「いかす」自転車を適切にいかすしかけ

様々な場面で自転車が活用できる環境を整える一方で、駅周辺等での利用増加の抑制も含め、まちに合った利用を促す取組を進めます。

「自転車は便利だし、健康にもよいからもっと乗ろう」と思っても、具体的な情報がなかったりして使いにくい時も多いのですが、どうやって「いかす」のですか？

A いかしやすい環境を整えます。

例えば、自転車で外出する時に、自転車が通行する場所が一目でわかるような**通行ルール**の「見える化」を図り、自転車をいかしやすくします。



例えば、都心部コミュニティサイクル事業「ベイバイク」。都心部を回遊する移動手段として、会員数がどんどん増えています。さらに「いかす」ために、ポート数を増やすなど、**サービスの拡充**を行います。



■「いかす」の施策の方向性と具体化に向けた考え方■

施策の方向性	具体化に向けた考え方
情報を補い使いやすい環境をつくる	「場所」に関する事前の情報提供
	「現地」でのルールの見える化
	「機会」に関する情報提供
	保険の加入推奨に関する周知等 正しい知識の伝達
自転車利用の推進に向けて課題となる制度や施設を見直す	「制度」の見直し
	多様なニーズに対応した駐輪スペースの確保
	コミュニティサイクル事業の推進
	障害者、高齢者、物流、人流等特殊な自転車への対応 「はしる」「とめる」環境整備に向けた計画等の策定
まちに合った自転車利用の適正化を図る	まちに合った自転車利用の推進
	駅周辺での利用環境整備の考え方の整理
適切に推進する体制をつくる	庁内組織体制の構築
	関係者間の連携体制の構築

自転車の新しい可能性を広げる取組を展開するためには、「使いたいのに使えない」「使いにくい」といった現状を変えることが求められます。そのための体制を整え、制度や環境をつくっていく必要があります。



<切りとり線>

郵便はがき

2 3 1 - 8 7 9 0
0 1 7

横浜市中区港町 1-1

横浜市道路局
交通安全・放置自転車課

「横浜市自転車総合計画」担当 行



料金受取人払郵便
横浜港局 承認
1491
差出有効期限
平成28年3月31日
まで
(切手不要)

<切りとり線>

ご意見については、

①郵送、②FAX、③電子メール、④担当課への持参 いずれかの方法でお寄せください

【宛先】 横浜市 道路局 交通安全・放置自転車課
自転車総合計画担当

- ①郵送 左記のハガキを使用
- ②FAX 045-663-6868
- ③電子メール do-public@city.yokohama.jp
- ④担当課への持参

【記入事項】提出の際には、次のことをご記入ください。

(A)氏名 (B)住所 (C)ご意見

※市外にお住まいの場合、市内の勤務先、通学先等を記載してください。

「横浜市自転車総合計画 素案」の詳細については ホームページをご覧ください

【ホームページ】 で検索

【URL】 <http://www.city.yokohama.lg.jp/doro/kotsujitensya/jitensya-pabliccomment.html>

お問合せ先・ご意見の提出先

横浜市 道路局 交通安全・放置自転車課
【住所】〒231-0017 横浜市中区港町 1-1
【電話】045-671-3644 【FAX】045-663-6868
平成 27 年 12 月発行

横浜市自転車総合計画素案【概要版】



横浜市自転車総合計画の策定にあたって

自転車は便利で身近、快適で楽しい乗り物です。健康づくりにも役立ち、環境にやさしいなど、多くのメリットがあり、様々な場面での利用が増えている移動手段です。

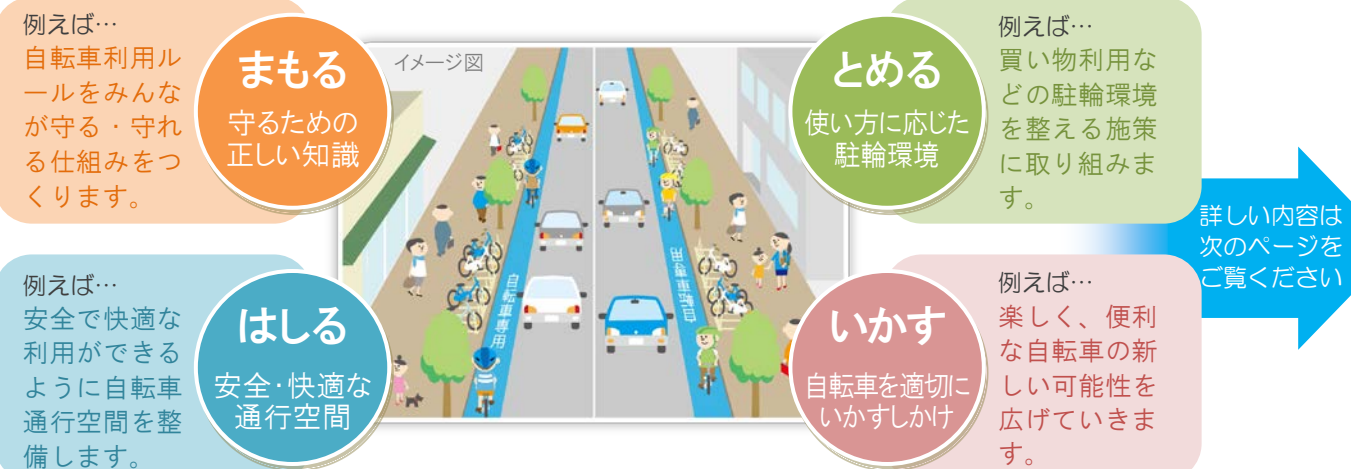
その一方で、ルールやマナーを守らない自転車も見受けられ、自転車が歩行者に接触する事故などの問題も起きています。

また、収容台数約 10 万台の駐輪場整備などを進めた結果、放置自転車は大幅に減少したものの、一部の地域では依然として買い物利用などを含めた放置自転車が発生している状況です。

そこで横浜市では、自転車の通行空間や駐輪場の確保などの「正しく利用できる環境」を整える施策を進め、みんなが快適に過ごせる街を目指し、総合計画を策定します。

自転車総合計画で取り組む4つのテーマ

自転車総合計画では、【まもる】【はしる】【とめる】【いかす】の4つのテーマごとに、施策の方向性と具体化に向けた考え方を示します。（計画期間：平成 28 年度から平成 37 年度まで）



自転車総合計画素案へのご意見、ご感想をお寄せください

自転車総合計画は、目標像【自転車を正しく使ってみんなが快適に過ごせるまちへ】の実現に向け、【安全に使える】【かしこく使える】【楽しく使える】を基本理念とし、4つのテーマごとに施策を推進するものです。

この計画の内容について、様々なご意見をお待ちしています。詳しくは、後述の「パブリックコメントの実施について」をご覧ください。



[illegible]

自転車適正利用 キャンペーン@横浜 開催中!!

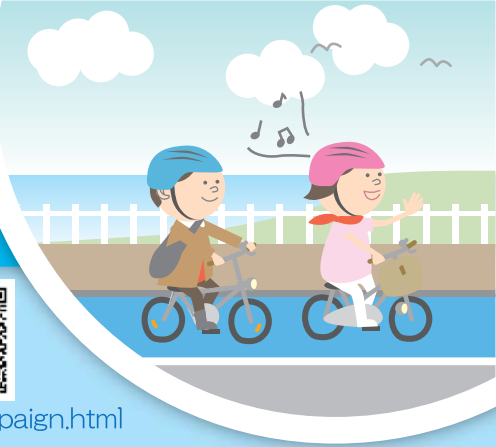
詳しくは
コチラ

自転車適正利用キャンペーン@横浜
ホームページ

【スマートフォン
携帯電話から】



【URL】 <http://www.city.yokohama.lg.jp/doro/kotsujitensya/jitensya-campaign.html>



キャンペーン1

計画の愛称 募集!!

自転車総合計画を、もっと分かりやすく、親しみやすく!!

横浜市では自転車をもっと安全、便利、快適に利用できるよう、「横浜市自転車総合計画」の策定を進めています。

この計画をより親しみやすく、内容をイメージしやすくなるような、計画の『愛称』を募集しています!

協力企業からの様々なプレゼントを用意していますので、皆さまふるってご応募ください!

募集期間

平成28年2月1日(月)~3月4日(金)まで

送り先

横浜市役所 道路局 交通安全・放置自転車課

【メール】 do-campaign@city.yokohama.jp

【FAX】 045(663)6868

【郵送】 〒231-0017 横浜市中区港町 1-1

注意事項

- いただいた個人情報は他の用途には使用しません。ただし、賞品の発送は協力企業から行いますので、協力企業へ必要な情報は提供させていただきます。
- 大賞は、平成28年5月開催予定の自転車等施策検討協議会で決定する予定です。協力企業賞の当選者は、その後、抽選で決定いたします。
- 結果の発表は発送をもって代えさせていただきます。

応募方法

必要事項をご記入のうえ、上記の送り先まで、ご応募ください。

応募資格は、【市内在住・在勤・在学の方】又は【市内で自転車利用の予定がある方】です。ご了承ください。

- 【必要事項】 ①愛称(おひとりにつき1つまで) ②氏名 ③住所 ④電話番号 ⑤年齢 ⑥性別
⑦希望する賞品の番号(下記の①~⑧の賞品番号を、第1希望、第2希望の2つまで記入下さい)

賞品

いろいろな企業の方々に協力いただきました!

大賞

商品券5万円分

「横浜市自転車総合計画」の「愛称」として選ばれた方には、なんと、商品券5万円分をプレゼントします!

提供: 横浜サイカパーキング(株)

1名様



※ご希望の賞品の番号を2つまで、ご記入ください。

ドコモ・バイクシェア賞

6 ベイバイク30くりバス引換券(2枚)

ベイバイクを1日利用できる30くりバスの引換券



5名様

損保ジャパン日本興亜賞

7 自転車用チャイルドシート(前用)

対象年齢 1歳~4歳未満のチャイルドシート



5名様

三井住友海上賞

8 サイクリングアームバンド

スマートフォンを入れる、腕に巻くタイプのバンド



20名様

協力企業賞

大賞に選ばれなかった方へのプレゼント(抽選)

Life-B賞

提供 NCD: 日本コンピュータ・ダイナミクス

1 自転車(MERIDA CROSSWAY)

(横)ミヤサイクルが販売するMERIDAのクロスバイク



1名様

2 骨伝導ワイヤレスヘッドホン(CODEO(コデオ))

骨を振動させて音を伝える、耳を塞がない新しいヘッドホン



10名様

横浜サイカパーキング賞

3 商品券3千円分

日本全国のJCBギフトカード取扱店等でご利用いただける商品券



10名様

グリーンサイクルステーション賞

4 自転車用メッセンジャーバッグ

ユニセックスなデザイン of オリジナルバッグ



1名様

ヤマハ賞

5 自転車用ヘルメット(子ども用)

対象年齢 1~3歳くらい、頭囲 47~51cmの子どものヘルメット



3名様

さらに

抽選で30名の方に、夜間のお出かけに役立つ、ゴムストラップ型の反射キャラクターストラップ(2種)をプレゼント

サンエス賞

反射キャラクターストラップ

30名様





数千万円の支払い？ 自転車保険に入ってますか？

自転車を運転していて事故を起こし、1億円近い損害賠償を命じられたケースも生じています。自転車が加害者になる可能性も考え、あなたに合った自転車保険で万が一に備えましょう。

▼TSマーク



保険の種類

自転車保険には、大きく分けて3つの種類があります。

保険1 自転車保険

【一般的な加入方法】

損害保険会社等のホームページ又は最寄の代理店にお問い合わせください。

【特徴】

自転車事故専用の保険です。相手への賠償からご自身のお怪我まで手厚い補償があります。

保険2 特約型個人賠償責任保険

【一般的な加入方法】

自動車保険等、現在ご加入の保険会社等にお問い合わせください。

【特徴】

自動車保険や火災保険等で特約を付保することで、相手への賠償を補償します。

保険3 TSマーク付帯保険

【一般的な加入方法】

自転車安全整備士のいる自転車店で点検を受けてください。

【特徴】

自転車点検整備を受けた日から、1年間有効な傷害保険と賠償責任保険が付いています。

キャンペーン2

安全・安心 無料診断

自転車のプロに診断してもらい、もっと安全・安心に！！

無料診断

受付方

「自転車無料診断 協力店舗」のステッカーのあるお店に行こう！

協力店舗は、キャンペーンホームページに掲載しています。

【キャンペーン期間】

平成28年2月1日～5月31日

【協力】神奈川県自転車商協同組合



診断内容

- ①ブレーキの効きは正常か？
 - ②ハンドルなどにがたつきはないか？
 - ③適正空気圧かどうか？
- 等を無料で診断します。
※修理、調整、交換などが発生する場合は実費となります。



どこで購入した自転車でもOKですよ。

無料点検

いつもの駐輪場で、気軽に自転車の点検を受けたい人

受付方

市営の駐輪場内で無料点検を実施します。実施予定駐輪場は、下記の7箇所です。

- ①横浜駅東口第二
- ②戸塚駅西口第十四
- ③東戸塚駅西口
- ④東神奈川駅東口
- ⑤瀬谷駅北口
- ⑥鶴ヶ峰駅北口第四
- ⑦天王町駅

日時などの詳細は、キャンペーンホームページをご覧ください、下記までお問い合わせください。

【連絡先】横浜市交通安全協会 事務局 電話：045(671)9708

点検内容

- ①ブレーキの点検
- ②タイヤの空気圧の確認
- ③ライトなど安全装置の確認
- ④チェーンなどの油さし
- ⑤ワンポイントアドバイス…など

キャンペーン3

自転車利用 促進マップ

お出かけ前に情報を知り、安全・便利に使いましょう！！

経済産業省が提供する「観光予報プラットフォーム」を活用し、市内で自転車事故が発生した場所や、駐輪場の場所などの情報をインターネット上で確認できるよう準備中です。

観光予報プラットフォーム ホームページ <https://kankouyohou.com/>

商品提供等協力企業

横浜サイカパーキング株式会社 NCD:日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社
有限会社 グリーンサイクルステーション ヤマハ発動機販売株式会社
株式会社 ドコモ・バイクシェア サンエス技研株式会社

広報等協力企業

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
三井住友海上火災保険株式会社
東京海上日動火災保険株式会社

キャンペーン実施協力企業

神奈川県自転車商協同組合
一般財団法人 横浜市交通安全協会
株式会社 JTBコーポレートセールス